

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	鎌倉国宝館副館長	内藤 浩之
文財-08 国宝館管理運営事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課	鎌倉国宝館
		関連課	
総合計画上の位置付け	分野	歴史環境	施策の方針
			文化財の保存、調査・研究、情報の充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	鎌倉ゆかりの文化財を収集、受託、保管し安全に後世に伝えとともに、調査・研究、展示をとおして市民等の利用に供するため。
効果	現在国宝7件45点、重文92件889点をはじめ、館蔵品・寄託品併せて1,000件、5,000点を超える収蔵品を保管し、文化財の保全と活用を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

・鎌倉国宝館を円滑に運営するため鎌倉国宝館協議会を開催し、また、非常勤嘱託員及び臨時的任用職員を雇用した。
 ・(公財)氏家浮世絵コレクションの円滑な運営を図るための事業を支援した。
 ・特別展・平常展を開催し、関係図書を出版・頒布して市民等の利用に供した。
 ・収蔵資料を良好な環境の下で保存管理した。
 ・鎌倉国宝館の適切な維持管理を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況			当初予算(千円)	138,505	
決算値(千円)	51,813	49,196	国県支出金		
国県支出金			地方債		
地方債			その他	22,935	
その他	11,863	18,483	一般財源	115,570	
一般財源	39,950	30,713	人員配置数	4.0	
人員配置数	4.0	4.0	人 件 費(千円)	30,665	
人 件 費(千円)	29,940	30,153	総事業費(千円)	169,170	
事業経費運営			市民1人当りの経費(円)	956	
総事業費(千円)	81,753	79,349	対象者1人当りの経費(円)		
市民1人当りの経費(円)	461	448			
対象者1人当りの経費(円)					

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-負担導入済 ○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-協働実施済 ○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 鎌倉国宝館友の会 (公財) 氏家浮世絵コレクション
事業内容の方向性	☒ a: 事業内容を見直す ☐ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 見直しの内容 昇降機更新や免震設備導入等の施設改修を行う。
予算規模の方向性	☒ A: 予算規模を拡大する ☐ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 昇降機更新や免震設備の導入といった設備の改善を図り、鎌倉ゆかりの文化財をより安全に後世に伝える。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	・「効率性」「妥当性」について…鎌倉国宝館は鎌倉市域、近隣の社寺に伝来する貴重な文化財の寄託を受けており、これらを後世に伝えていくために必要不可欠な施設であることから「事業費の削減余地」「関連・類似事業との統合の可能性」は無く、廃止による影響は大きい。 ・「有効性」について…事業の方向性や手法は概ね適切であり一定程度貢献しているが、更なる努力は必要である。具体的には鎌倉の歴史や文化に関する情報や学習機会を提供していくための収蔵品の充実、展示や講座の積極的な実施、学校教育との連携などに努めていく。 ・「公平性」「協働」について…既に観覧料の導入や鎌倉国宝館友の会との協働等を実施している。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	・収蔵品の充実を目指し、それを基に魅力ある展示を企画し、来館者の増加を図る。 ・施設の老朽化への対策、及び免震設備未設置部分への効果的な対策を検討する。 ・公開講座を実施するほか、学校教育の場としての利用の促進を図るなど、普及啓発事業に力を入れる。		
課題解決のために行った平成27年度の取組	寄託品が新たに2件増えるなど収蔵品が充実した。年間の来館者数については、前年度と比較し19,710人の増加となった。特別展開連講座や出張講座といった一般向けの公開講座を実施したほか、市内外の小中高等学校の学校行事による利用について、特別解説等を実施して学校教育との連携を図った。		☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	収蔵品の充実を図り、魅力ある展示を企画し入館者の増加を図る。昇降機更新や免震設備対策の検討を継続する。学校教育の場としての利用促進を図る。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	平成27年度入館者数(人)								
団体名	鎌倉市	神奈川県	神奈川県	横浜市	川崎市				
他市実績	鎌倉国宝館	神奈川県立歴史博物館	神奈川県立金沢文庫	横浜市歴史博物館	川崎市市民ミュージアム				
	50,585	178,873	43,049	131,096	177,176				
比較事項	平成27年度観覧料収入(千円)								
団体名	鎌倉市	神奈川県	神奈川県	横浜市	川崎市				
他市実績	鎌倉国宝館	神奈川県立歴史博物館	神奈川県立金沢文庫	横浜市歴史博物館	川崎市市民ミュージアム				
	16,139	19,746	6,782	6,441	(集計中)				
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	周辺の公立博物館との比較からは、入館者数ではやや見劣りがするものの、観覧料収入では県立歴史博物館以外の館を上回っており、人口および組織の規模を考慮すると、かなり健闘しているものと評価される。今後も引き続き魅力ある展示を実施することにより、入館者および観覧料収入の増加に努めていきたい。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	入館者数					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
当該事業へのニーズや反響を把握するため。	目標値	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000			
	実績値	30,875	50,585							
	達成率	44.1%	72.3%							
指標の内容	観覧料収入					単位	千円	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
当該事業を実施することにより、もたらされた収入額を明らかにする。	目標値	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500			
	実績値	10,369	16,139							
	達成率	48.2%	75.1%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方		平成26年度は大規模空調修繕工事を実施したことから開館期間が約8ヶ月にとどまった影響もあり、目標値を大きく下回ったが、平成27年度は入館者数・観覧料収入ともに増加に転じた。今後も収蔵品の充実を図り、魅力ある展示を企画し入館者の増加を図ることにより、観覧料収入の増加に努めていきたい。								

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---